

# 道徳科學習指導案

学習者 附属小学校 3年3組 35名  
指導者 丸尾 剛廣

## 主題名 頑張り続けると

### 1. ねらいと教材

「わたし」が一輪車の練習を続けられた理由について、努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりする活動を通して、自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

**教材名** 一りん車にのれた **出典** 新しいどうとく3 東京書籍

**内容項目** A-5 希望と勇気、努力と強い意志

(関連する内容項目 A-4 個性の伸長)

### 2. 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲を持つことが大切である。諦めず粘り強くやり抜く強い意志や、途中で諦めそうになる心の弱さなどについて、考えを深めていくことが求められる。本教材では、中々一輪車に乗れず「もう一輪車なんか見たくない。」とまで思った「わたし」が、友達の力を借りながら乗れるように頑張る姿と自分の行動を照らして考える中で、頑張ることのよさについての問題意識をもつことができる。そして、子どもは、学習課題を解決する中で、目標実現のために、自分を励ましてくれる人の存在や、努力する喜びなどに気付き、粘り強く努力を続けようとする実践意欲と態度を養えるようになる。

#### (2) 児童の実態【児童観】

本学級の児童は、ペア活動やグループ活動で積極的に自分の意見を発信することができる。「かがやき」をクラステーマとして、学級会や、フリートーク、ほめ言葉のシャワーの際には「か」の「考える」、「が」の「がんばる」、「や」の「やさしく」、「き」の「協力」という視点で取組を進めている。「かがやき」になるために、授業や学級での活動等で主体性を持ち、成長していきたいという思いを持っている児童が多く見られる。

一方で、目標を立てることができても、それを行動に移すことが難しい現状がある。また、頑張りを続けることができずに途中で諦めてしまう姿もある。「失敗してしまったなあ。」「自分は苦手だから...」など、頑張る努力をせずにすぐに諦めたり、行動に移す前に自分の限界を決めてしまったりしてしまう姿もあった。

行事の前後や学期の始めや終わりに「成長ノート」で自身を振り返り、成長を可視化する取組も進めている。自身の経験を振り返り、自分の「成長・頑張り」に気付けるようにしたい。そして、「頑張り」を続けていくために大切な方法は何かを考えることができる学習活動を行っていきたい。

### (3) 教材の特質と活用方法【教材観】

主人公の「わたし」が、友達の久保田さんのように一輪車に乗れるようになりたいと思うものの、何度もやつてもうまくいかず、諦めていたところに、久保田さんの助言や応援により乗れるようになったという話である。

「わたし」が努力できた原動力が、「一輪車に乗れるようになりたい」という自分が立てた目標であったこと、努力を支えてくれる久保田さんの存在があったということにも気付けるようにしたい。そして、何より自分で立てた目標の実現に向かって自分自身で頑張ろうと努力することの大切さや喜びについて考えを深めるようにしたい。

### 3. 指導と評価の計画（全4時間）

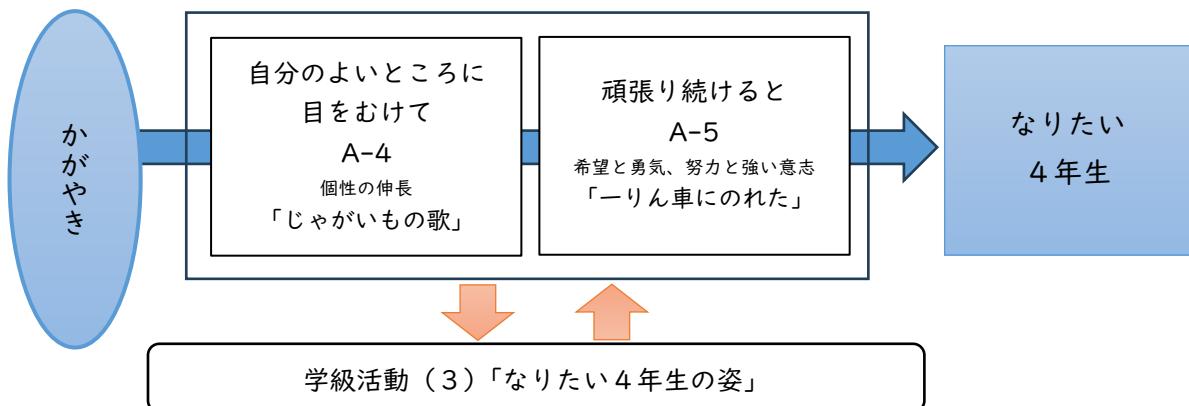
#### 単元名 なりたい4年生（4月の自分）の姿に向けて自分にできることを考えよう

**単元目標** 自分がなりたい4年生の姿について、マンダラートや4年生へのインタビューをもとになりたい4年生の姿とそのための行動について考えたり、目標に向かって諦めずに努力する人達の頑張りに目を向け、自分と比べて振り返ったりすることを通して、目標実現のためには自分自身の努力だけでなく周りの人の励ましや賞賛があることに気付き、粘り強く努力しようとする実践意欲と態度を養う。

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		指導の改善に生かす評価「・」	総括資料とするための記録に残す評価「○」	
1 学活 (3)	※関連 A-5 希望と勇気、努力と強い意志 A-4 個性の伸長	◆今の自分たちの姿と4年生の姿を出し合い、3年生との違いや必要な力などについて4年生へインタビューしたり、マンダラートにまとめたりする活動を通して、なりたい4年生の姿を具体的に思い描くことができるようとする。		
事前	※定期的に行う	◆目標の実現に向けた取組を、更に加速させていくための工夫について話し合い、自分に合った課題解決の実践方法を考えることができるようする。		
2 道徳	<b>主題名</b> 自分のよいところに目をむけて <b>教材名</b> じゃがいもの歌 <b>内容項目</b> A-4 個性の伸長 <b>※関連</b> A-5 希望と勇気、努力と強い意志 ◆さとしが友達への見方が変化した理由について、様々な形のじゃがいものがあることを知り、そこから友達のよさに目を向けるようになったさとしの心情の変化について考え方話し合ったり、自分の経験を振り返ったりする活動を通して、自分の特徴を知り、長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。 ○「スケールチャート」に示した、なりたい4年生の姿に向けた目標の現時点での達成度を振り返る。 ○振り返りをもとに本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">めあて 自分らしさについて考えよう。</div> ○友達のよさに目を向けるようになったさとしの気持ちを考える。 ○自分らしさや自分によさについて考える。 ○「マンダラート」を見ながら、自分を振り返る。		<b>【評価の着眼点】</b> 友達のよさに目を向けるようになったさとしの心情の変化について考え方話し合ったり、自分の	

			経験を振り返ったりしているか ・〈行動分析〉 〈記録分析〉
	<b>主題名</b> 頑張り続けると <b>教材名</b> 一りん車にのれた <b>内容項目</b> A-5 希望と勇気、努力と強い意志（関連する内容項目 A-4 個性の伸長）	<p>◆「わたし」が一輪車の練習を続けられた理由について、努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりする活動を通して、自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「スケールチャート」に示した、なりたい4年生の姿に向けた目標の現時点での達成度を振り返る。</li> <li>○本時のめあてを確かめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>めあて</b> 目標の達成に向けて頑張ることについて考えよう。       </div>	
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の内容を確かめながら、一輪車に乗れるようになりたいと思うものの、何度もやつてもうまくいかなかつた時の「わたし」の気持ちを考える。</li> <li>○「わたし」が一輪車の練習を続けることができた理由をワークシートに書き、ペアや全体で理由について話し合う。</li> <li>○自分の経験や、目標の達成に向けて頑張り続けることのよさについて考え、「マンダラート」や「スケールチャート」を見返しながら、行動目標について考えていくようとする。</li> </ul>		<b>【評価の着眼点】</b> 努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりしているか。 •〈行動分析〉 〈記録分析〉
4 学活 (3)	<b>※関連</b> A-5 希望と勇気、努力と強い意志 A-4 個性の伸長	<p>◆なりたい4年生の姿に向けて付けたい力や具体的な行動目標について、自己の課題と照らし合わせながら、マンダラートを使って考えを広げたり、友達とアドバイスし合ったりする活動を通して、自分に合った解決方法を意思決定し、目標達成のために自己のよさを生かしながら主体的に行動しようとする態度を育てる。</p>	

#### 〈単元構想図〉



#### 4. 本時の指導 (3/4)

**本時のねらい** 「わたし」が一輪車の練習を続けられた理由について、努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりする活動を通して、自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。

**評価の着眼点** 努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりしているかどうか。(発言・振り返り)

**具体的な児童の姿** 「頑張り続けるとできることが増えるんだ。」

「目標の達成には、自分の頑張りや周りの人の応援、次への目標が大切なんだ。」

時間	児童の活動	指導の及び留意点 【選択・決定】【当事者意識】◎評価（方法）※支援を要する児童への手立て
5分	<p><b>単元のめあて</b></p> <p>なりたい4年生（4月の自分）の姿に向けて自分にできることを考えよう。</p>	<p>○現時点でのスケールチャートに示した、なりたい4年生（4月の自分）の姿に向けた目標の達成度を振り返り、振り返りをもとに本時のめあてを確かめるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までにスケールチャートに示してきた目標の達成度を振り返り、自分の「今」を確認できるようにする。<b>【選択・決定】【当事者意識】</b></li> <li>・自分が書いたマンダラートを振り返り、マンダラートに書いた行動目標の達成の難しさについて共有するようする。<b>【当事者意識】</b></li> <li>・難しさを感じながらも頑張る「わたし」の行動の変化や気持ちを考えながら紙芝居音声を聞くようする。</li> </ul>
15分	<p><b>本時のめあて</b></p> <p>目標の達成に向けて頑張ることについて考えよう。</p>	<p>○教科書の内容を確かめながら、一輪車に乗れるようになりたいと思うものの、何度もやつてもうまくいかなかった時の「わたし」の気持ちを考えるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵をもとに、久保田さんへのあこがれの思いや何度もやつてもくいかず諦めそうになる「わたし」の気持ちについて児童とおさえるようする。</li> <li>・マンダラートやスケールチャートを適宜見ることで、「一輪車の練習を頑張ること」と「なりたい4年生像」をつなげて考えられるようする。<b>【当事者意識】</b></li> </ul>
	<p><b>基本発問</b></p> <p>さっさと一輪車を片付けた「わたし」は、どんな気持ちだったかな。</p>	<p><b>【想定される児童の姿（発言）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして練習してもできないの。</li> <li>・こんなに練習しているのに悔しい。</li> <li>・早くできるようになりたい。</li> </ul> <p>・「もう一輪車なんか見たくない。」という気持ちにまで至った「わたし」の心情を確認した後、そこで諦めずに、久保田さんから「すごいね。」と言われるほどまでに成長した「わたし」の変化を考えるようにする。</p>

15 分	<p>3. 「わたし」が一輪車の練習を続けることができた理由をワークシートに書き、ペアや全体で理由について話し合う。</p>	<p>○「わたし」が一輪車の練習を続けることができた理由をワークシートに書き、ペアや全体で理由について話し合うようにする。        • 諦めそうになりながらも、一輪車に乗れるよう再び頑張ろうという思いに変化した「わたし」の気持ちの読み取りをもとに、変化に至った要因に目を向けさせ、中心発問について考えるようとする。</p>
<b>中心発問</b> 「わたし」が一輪車の練習を続けることができたのはどうしてかな。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを整理して書くことができるようするために、「心の地図」（ウェビングマップ）に考えを書くようする。</li> <li>・友達と意見や考えを交流した際に、友達の意見や考えには鉛筆以外で丸をさせ、自分の考えが友達のおかげでより広がっていることを視覚的に分かるようする。【選択・決定】</li> </ul> <p>※考えを持ちにくい児童がいた場合は、運動会や歌声発表会に向けて努力してきた経験を想起するようにし、その時の気持ちを振り返るようにする。</p> <p><b>【想定される児童の姿（発言）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【よろこび】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習したら皆と乗れるしうれしい。</li> </ul> </li> <li>【おうえん】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・久保田さんが応援してくれたから。</li> </ul> </li> <li>【つづけた自分】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習を続けたら久保田さんみたいにうまくなかったから。</li> </ul> </li> <li>【次の目標】           <ul style="list-style-type: none"> <li>・メリーゴーラウンドという技をしてみたいから。</li> </ul> </li> <li>・一つの考えに集約するまとめは行わない。</li> <li>・「わたし」に自我関与させ、努力の成果が現れた時の思いを多面的・多角的に話し合うことで、頑張ることのよさについて考えを深めるようする。【当事者意識】</li> <li>・頑張ることのよさについて話し合うを通して、目標を実現するためには、自分自身の努力だけではなく、家族や先生など、周りの人の励ましや賞賛があることに気付くようする。</li> </ul>
<b>補助発問</b> 一輪車に乗れるようになったのに、メリーゴーラウンドにも挑戦するぞという気持ちにまでなれたのはどうしてかな。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助発問として、「もっと大変な苦労が待っているかもしれないのに、なぜ『わたし』は一輪車に乗れたことで満足しなかったのかな。」と問い合わせ、現状に満足せず次の目標に向かって頑張りを続ける大切さについて考えるようする。</li> </ul> <p>○目標の達成に向けて頑張ることの大切さとは何かを問い合わせ、なりたい4年生の実現のために、本時の授業での学びの中で自身に生かせうことについて考えるようする。</p>
<b>基本発問</b> なりたい4年生に向けて、自分を見つめ直してみよう。		

【想定される児童の姿（発言）】

- ・頑張り続けるとできることが増えるんだ。
- ・目標の達成には、自分の頑張りや周りの人の応援、次への目標が大切なんだ。

- ・児童の振り返りをもとに、目標に向けて頑張ることの大切さを確認して、次時の学習につなげるようにする。
- ・なりたい4年生の姿と本時の授業のつながりについて考えさせ、マンダラートやスケールチャートを見返しながら、行動目標について考えいくようとする。

【選択・決定】【当事者意識】

◎努力の成果が現れた時の「わたし」の気持ちを考え話し合ったり、自分の経験を振り返ったりしているかどうか。